

令和7年4月1日

令和元年度「被災者訪問調査事業」の対象となられたみなさまへ

「関市における平成30年7月豪雨被災者訪問調査」 に関する研究への協力をお願い

岐阜大学環境社会共生体研究センター（旧：流域圏科学研究センター）の准教授である小山真紀を代表とする研究プロジェクトでは、令和元年度「被災者訪問調査事業」の訪問調査で回答頂いたデータを用いた研究「関市における平成30年7月豪雨床上浸水世帯実情調査」を行います。

なお、小山准教授は関市のアドバイザーであり、被災者訪問調査事業にも協力いただいています。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象

令和元年度「被災者訪問調査事業」で訪問調査を受けられた方

研究期間

倫理審査委員会承認日～2028年3月31日

研究目的・方法

関市役所が実施したヒアリング調査のうち、同意が得られたものについて、被災直前からこれまでの状況を時系列で整理することによって、どのような時期にどのような困難な状況に陥りやすいか、また、回復の時期やきっかけはどのようなものかといった状況を把握し、今後の災害対策に資することを目的としています。

研究に用いる試料・情報の種類

調査回答データ

外部への試料・情報の提供

関市と岐阜大学環境社会共生体研究センター（旧：流域圏科学研究センター）との覚書に基づいて電子媒体によって提供します。

研究組織

【研究代表者】

所属：岐阜大学環境社会共生体研究センター 職名：准教授 氏名：小山 真紀

【共同研究者】

所属：Bergische Universität Wuppertal 職名：博士課程 氏名：筋野 哲央

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して、令和元年度「被災者訪問調査事業」で訪問調査を受けられた方に、新たに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の研究責任者まで問い合わせください。また、ご自身の調査結果について、当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の関市の連絡先まで申し出ください。

なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

関市連絡先

関市若草通 3 丁目 1 番地

電話番号 0575-22-3131 内線 2159

担当部署：福祉政策課 企画係

研究責任者

岐阜大学環境社会共生体研究センター 准教授

電子メール：koyama.maki.v8@f.gifu-u.ac.jp

電話番号：058-293-2441

氏名：小山 真紀